

(1)事業の概要等

令和6年度 事務事業評価シート

事業番号		B1602-1		事務事業名		施設予約システム管理事業		事業期間		平成20年度		～		令和8年度以降				
実施計画事業		○																
実施計画事業以外の事業				担当部				担当課・担当係										
事業の概要	小牧市まちづくり推進計画(R5年～R8年)	分野別計画編	基本 施策	16	展開 方向	2	事業・予算区分	一般事業	款	10	項	5	目	1	大	2	中	2
	根拠法令 ・個別計画							対象 (何・誰を対象に)	施設利用者									
	目的 (何のために)	ネット予約を含む新システムを構築し、利便性を向上させ、迅速に予約が行えるようにする。						内容 (どのような方法で)	これまでの施設予約システムは、平成20年からカスタマイズを加えながら、小牧市の施設の形態などに合わせた予約ができるよう開発し、施設ごとに予約時間枠や予約可能日など、施設の実情に合わせたシステムであったが、空き状況の確認はできても利用者が直接予約入力を行うことはできない仕様となっていた。 新たに導入した施設予約システムでは、オンライン予約、キャッシュレス決済、オンライン抽選会などができるようにすることで、市民サービスの向上と業務の効率化を図っている。									

(2)事業費

事業費	項目	単位等	R2	R3	R4	R5	R6	
			直接経費	決算額	千円	18,552	15,898	17,652
	財源	一般財源 国・県支出金 その他						
		計(A)	18,552	15,898	17,652	22,572		
		対前年比	—	85.69%	111.03%	127.87%		
		予算額	千円	18,781	16,152	19,434	23,754	18,059
	人件費	正規職員	人	0.2	0.2	0.2	0.15	
		正規職員(平均賃金)	千円	1,497	1,497	1,497	1,123	
		その他職員	人					
		その他職員(時給×時間)	千円					
		計(B)	千円	1,497	1,497	1,497	1,123	
	事業費合計(C=A+B)		千円	20,049	17,395	19,149	23,695	

(3)業績

展開方向における指標の推移	基本施策	16	指標名	単位	方向性	基準値	R5	R6	R7	R8
			1	公民館利用率	%	↗	38.5	42.5		
展開方向	2	2	市が管理するスポーツ施設の年間利用者数	人	↗	469,015	507,822			
		3								

指標	指標ほか		単位		R2	R3	R4	R5	R6	
	成果指標	文化施設におけるオンライン予約率	%	目標	-	-	-	-	-	
				実績	-	-	20.28	53.59		
		スポーツ施設におけるオンライン予約率	%	目標	-	-	-	-	-	
				実績	-	-	75.13	78.67		
	活動指標			目標						
				実績						
					目標					
					実績					
	単位あたり事業費	受益者数(a)		人				5,601		
受益者あたり事業費(=C/a)		円				4,230				

(4-1)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	維持(改善)	事業のボリュームは現状規模で維持するものの、手法の改善をするもの				
	事業の達成状況と課題	令和5年1月から新施設予約システムを導入し、オンラインでの施設予約やキャッシュレス決済ができるようにして、施設利用者の利便性を高めることができた。 また、予約事務の手間や電話仮予約の減少、抽選会の廃止により、施設職員の負担軽減に繋がった。	今後の実施内容・今後の改善内容	しばらくの間は現状維持で事業を継続していく。 また、日ごろから利用者ニーズの把握に努め、次期システム導入の際の検討材料としていく。 事業費については、令和6年度に借上機器の更新を行い、専用端末やソフトウェアの削減ができるため、それ以降の費用を圧縮できる。			
	改善の有無	有		千円	節	細節	細々節
これまでの改善内容	オンラインでの施設予約やキャッシュレス決済ができるようにして利用者の利便性を向上させた。	事務事業評価額					

(4-2)事業継続の可能性(事業のスクラップ可能性)

評価項目		評価結果	評価結果を判断した理由
事業分析	妥当性	行政が公費を投入して実施することが妥当か(対象を見直すことはできないか)	妥当である 市が管理する施設を対象とした予約システムであり、市が公費を投入してシステムを維持していくことが妥当である。
	有効性	廃止・休止した場合に住民が影響を受けるか	多くの住民に影響がある 施設予約システムがなければ、施設の予約や利用の受付を円滑に実施することができなくなり、施設の利用者の利便性が低下する。
	効率性	サービスを低下させずに総事業費を削減できないか	現状のままでよい 新システムを導入するにあたり、市で専用のサーバーを設置せず、クラウドサーバーを利用することで、導入費用や維持管理費用の削減を図った。(一部専用端末のサーバーは残る)
		外部への委託や類似事業との統合により事業費の削減の余地はないか	現状のままでよい 同上
	公平性	受益者負担は適正か	適正である システム利用にあたっては料金を徴収していない。